



医療法人 社団 亮正会 総合高津中央病院
 川崎市高津区溝口1-16-7 TEL 044-822-6121
<http://www.takatsuhosp.or.jp>

新 高津中央病院だより

(財)日本医療機能評価機構認定病院 2013年◆夏号(2013年7月発行)

Vol.42

季節の写真館 茅葺きの山門・円福寺

(元禄時代・文化遺産：高津区下作延2051)



総合高津中央病院 理念・基本方針

理念

医療を通じて地域社会に貢献します

基本方針

1. 地域の皆様に愛される病院、親切、迅速、奉仕について最善の努力をします
1. たゆみない研鑽と医道の高揚に努め、安全で質の高い開かれた医療の提供をめざします
1. 地域の救急医療に全力で対応します
1. 保健、福祉の全面的な支援を行います

巻頭言

顔の見える医療連携こそ使命

顧問 遠藤 健夫



「社会保障制度改革国民会議」で議論され、少子高齢化の急進展、医療技術の革新、財政改革などの重大課題について改正方向が見えてきました。

歴史的な大変革を目前に、57年の歴史を経て来た本院が地域の中核病院として一層の信頼を得て『生き残れる病院』となるために全役職員が一体となり日常業務に邁進することは言うまでもありません。

前号の小林病院長の就任ご挨拶で『医療連携を充実、医療提供体制の機能分化に取り組む』との表明がなされました。このたび、私が病院長直属スタッフとして発令を受けたのは、『医療連携室』メンバーと共に医療連携体制を一層強化・推進する使命を頂いたものと考えております。

本院では、『顔の見える医療連携の推進』が地域中核病院としての責任を果たすキーワードと考え日常の業務を行っております。具体的には、地域の医療機関、施設とのコミュニケーションを強くし、情報

交流による信頼関係を作り、クイックレスポンスでスムーズな対応を行うという基本を着実に実行することを継続したいと思います。

- 日常的に連携して頂きお世話になっております近隣医療機関の皆様にご挨拶で伺いたいと思います。
 - 昨年同様に11月に地域医療連携イベントを開催致しますので追ってご案内させていただきます。
 - 日常の連携体制強化のため本院情報発信としてホームページ、ディスクロージャー等の見直しを検討中です。
 - ご来院の方への声掛けを基本とする全職員のホスピタリティ向上運動を病院挙げて推進中です。
- さらに、母体である医療法人内の各施設との日常連携体制の強化にも取り組み、「亮正会グループ」全体で地域社会への貢献に寄与したいと思います。何卒、よろしくお願い致します。



名前 りゅう しゅんじん 柳 舜仁

専門領域 外科

卒業大学 東京慈恵会医科大学

自己紹介 365日オンコールの所存です。昼も夜も手術をして、自分を磨き、少しでも多くの患者さんのためになるようにがんばります。

卒業年度 平成21年度

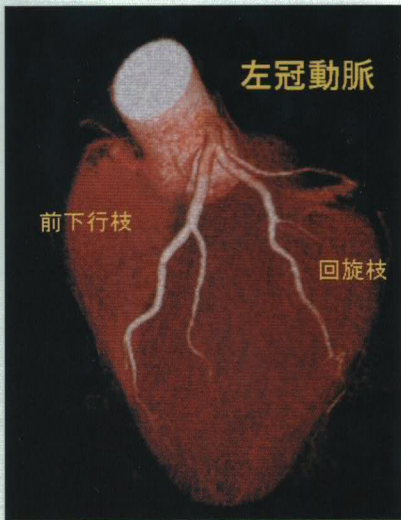
循環器内科 画像診断部 TOPICS * * * *

冠動脈CTについて

循環器内科・部長 中尾正行
画像診断部・部長 石井 巖



4月1日より稼働している最新鋭CT装置



あなたの心臓（冠動脈）は大丈夫ですか？
虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）と診断される患者さんの数は年々増加しています。

その虚血性心疾患はCTで診断できるのをご存じですか？
従来は入院が必要なカテーテル検査で行われていた心臓の冠動脈の評価が、造影冠動脈CTで簡便に検査できるようになりました。

冠動脈CTはカテーテル検査に比べ体に負担の少ない検査で、心臓にある左右3本の冠動脈の動脈硬化プラークや石灰化による動脈の狭窄の有無を造影剤の使用で診断します。

当院では最新鋭の東芝製80列CTを使用し、循環器内科医師の立会いのもと、約20分で検査終了します。

頻脈や不整脈がある方では良好な検査結果が得られない場合がありますので、当院循環器内科医師にご相談ください。

虚血性心疾患は症状が出る前に診断できれば、適切に治療できます。

皆さん、いつ検査するの……？

正常の冠動脈は左上写真『左冠動脈』のように描出されますが、虚血性疾患があると血管はきれいに描出されません。

高津中央インフォメーション

「地域医療連携懇談会」開催のお知らせ

本年度も「顔の見える連携（つながり）」をテーマに、なお一層の地域連携を図るべく地域医療連携懇談会を開催する運びとなりました。

昨年度は、ご多用にもかかわらず約50名もの近隣の先生方の御出席を賜り、会は大いに盛り上がりました。

今回も講演会と懇談会の2本立てで、話題提供として放射線科と内科（循環器）より当院での取組みをご報告いたします。また、本年3月に入れ替えたCT装置（80列マルチスライス型）、9月に入れえを予定している血管造影装置（アンギオ）についてもご案内したいと考えております。

なお、会の詳細につきましては、9月にご案内申し上げます。お忙しいとは存じますが、奮ってのご出席をお待ちしております。



昨年の講演会風景

平成25年度 地域医療連携懇談会

日時：平成25年
11月1日（金）
19：30～講演会
20：30～懇談会

場所：ホテルKSP 3階
曙光の間

*** 糖尿病教室のお知らせ ***

平成25年度第1回の糖尿病教室が、7月6日より4回シリーズで開催されました。糖尿病治療の最新情報から運動療法の実演と充実した内容でした。今回もたくさんの方が参加してくださいました。

そして9月には、第2回糖尿病教室が下記日程にて2号館1階ラウンジで開催されます。今回食事療養は“食事療法を美味しく！楽しく！”をテーマに食事会（ワンコインランチ）を企画しております。

血糖値の気になる方、療養中の方、是非一度糖尿病教室へいらっしやいませんか。私たち糖尿病教室開催チームがサポートいたします。

◆ 9月7日・14日・21日 14：00～15：30

- 糖尿病の診断と治療
- 糖尿病の検査
- お薬について
- 日常生活について
- 運動療法

◆ 9月28日 12：30～

食事会（要予約）“ワンコインランチ”

問合せ先TEL044-822-6133
栄養部（安田・阿部）



「看護フェスティバル」開催

看護部 中嶋千鶴子

今年度の看護フェスティバルは、5月19日（日）に「愛・希望・健康・思いやり」をテーマに開催しました。

今回は第22回の開催であり、事前にタウンニュースで広報したことから昨年以上に多くの地域の皆様に参加して頂きました。

「血管年齢測定」や「体脂肪測定」は毎年好評であり、午前中は待ち時間が出るほどでした。「災害時お役立ち情報」では、身近にあるものが災害時に活用

できるアイディアの紹介に足をとめる方も多く、待ち時間を利用した災害Q&Aも好評でした。「AEDの実演」では、講義を聞いた上で、指導を受けながら実際の体験を積極的に参加されていました。また今年度は、新しく妊婦体験も試みていただきました。ご主人と共に感動の体験をしておられました。

「相談コーナー」では、栄養相談やお薬相談、健康相談などこの機会に自分の体のことを専門家に相談したい方々も年々増えておられ、健康への関心が高くなっていると感じました。

開催当日は、天候が心配されましたが、延べ人数1,268人と多くの方に来院していただき、大盛況の中、地域の皆様と交流を図ることができました。



「眼科」～質のよい見え方を目指して～

眼科医師 菊地 琢也

視覚は五感の約80%を占めると言われています。現代社会において眼から得る情報量は飛躍的に増えており、見え方が悪化することは生活の質が落ちると考えられています。

白内障で視力が低下したり、緑内障で視野が欠損することで見えにくくなったり、ドライアイで眼表面の変化に伴って眩しさや見にくさを生じるなど、様々な要因が重なって視覚の質の低下につながります。

当院では地域の中核病院という位置づけの中で、あらゆる眼科疾患にスタッフ一同日々携わっております。小児眼科では経験豊富な検査技師の指導の下、弱視改善に対して、



きめの細かい治療をしております。緑内障診療も静的・動的視野検査計を有しておりますので経過観察するうえで非常に有利に働くと考えて

おります。また、内科と連携の下、糖尿病や高血圧など全身合併症の眼合併症の精査、啓蒙に力を入れております。

手術は白内障を中心に、外眼部（眼瞼下垂やものもらいなど）、加齢性黄斑変性症、涙道内視鏡を使った涙道手術、眼瞼けいれんに対する治療を最新の医療機器を用いることで安全に行っております。特に涙道手術は川崎市内でもほとんど導入されていない内視鏡を用いて行います。

最近、当科で導入した1つにオルソケラトロジーがあります。オルソケラトロジーとは通常日中に装着しているハードレンズとは異なり、特殊なデザインのハードコンタクトレンズを就寝時に装着することで、角膜の形を変えること（近視が軽減）により、日中裸眼で生活する事ができる近視矯正法です。当院では昨年12月より3例治療を開始しており、順調に経過しております。オルソケラトロジーは激しいスポーツや陸上、水泳、格闘技などを行う人に有効でないかと考えます。また、最近の知見では小児の近視進行抑制に有効であるとの報告があります。ガイドラインでは20歳以上が適応になりますが、ご両親の承諾の元、未成年での使用も検討しております。

このように検査機器・手術機器を含め大学病院に匹敵する環境で「質のよい見え方」を目指して、日々治療を行っております。

個人情報保護方針

情報社会において、個人情報の保護は非常に重要な課題です。

総合高津中央病院では、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考え、個人情報保護に関する方針を以下のとおり定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

① 個人情報の収集・利用・提供

個人情報の保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の収集、利用および提供に関する内部規則を定め、これを遵守します。

② 個人情報の安全対策

個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する万全の予防措置を講ずることにより、個人情報の安全性・正確性の確保を図り、万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

③ 個人情報に関する法令・規範の遵守

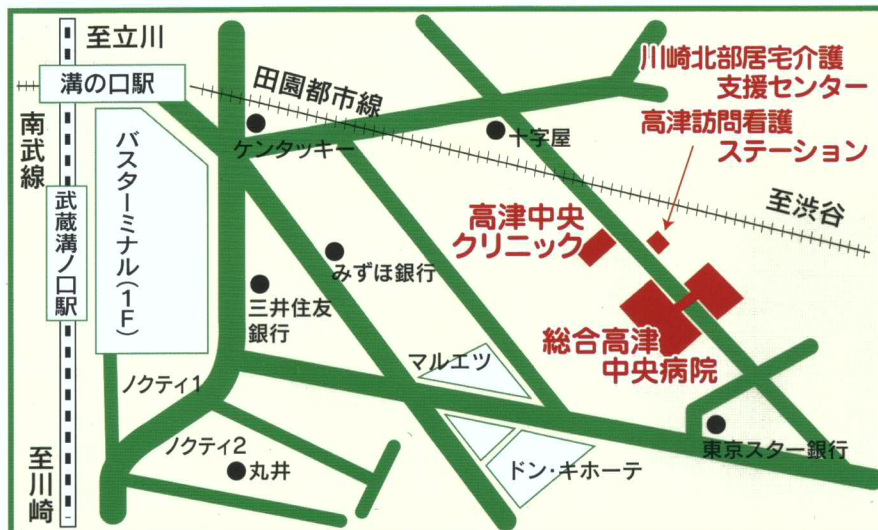
個人情報に関する法令およびその他の規範を遵守します。

④ 教育および継続的改善

個人情報保護体制を適切に維持するため、職員の教育・研修を徹底し、内部規則を継続的に見直し、改善します。

⑤ 診療情報の提供・開示

診療情報の提供・開示に関しては、別に定めます。



▶ 総合高津中央病院

川崎市高津区溝口1-16-7
TEL (044) 822-6121 (代)
<http://www.takatsuhosp.or.jp>

▶ 高津中央クリニック (健診)

川崎市高津区溝口1-16-3
TEL (044) 822-1278 (代)
<http://www.takatsuhosp.or.jp/clinic/>

▶ 川崎北部在宅介護支援センター

川崎市高津区溝口1-17-5
TEL (044) 822-6159 (代)

▶ 高津訪問看護ステーション

川崎市高津区溝口1-17-1
TEL (044) 822-1287 (代)